

リカバリーカレッジOKAYAMA

リカバリーカレッジトレーナー入門ワークショップ

リカバリーカレッジのコアな考え方について

---

2008年？

リカバリーイノベーションの視察と講師招聘

2009年

ロンドンで試験的にリカバリーカレッジ開始

2011年

正式に始まる

2011年 ImROC

組織改革を通した  
リカバリーの促進  
「精神的健康なくして健  
康はない」

2018年の報告

イギリス全土で80か所以上

Recovery & Wellbeing

Collegeに。

世界的に広がり  
日本でも  
開始！

## リカバリーカレッジ のはじまり

- ・リカバリー志向のサービスが  
疾病や再発防止から意味ある人  
生、ウェルネに焦点をあて始める
- ・リカバリーへの気づきとリカバ  
リースキルを学ぶ機会の必要性
- ・ピア主導のサービスの提供

# イギリスにおけるリカバリー・カレッジ

目的	ひとりひとりのリカバリーの旅のためにセルフマネジメントができるようになること
スタッフ (トレーナー)	専門職とピアスタッフとが組んで行う 専従スタッフはNHS常勤、講座トレーナーの多くは非常勤
対象者(学生)	精神保健サービスの利用者、その家族、友人、市民専門職など
カリキュラム	3学期制 1学期3か月程度 専門的知識と経験知に基づくリカバリーのための講座が 数多く開講され、学生は目的に合わせて自分で選択する。 自分で申し込み、受講料は無料

# リカバリーカレッジのコアとなる考え方

(McGregory 2014年)

- |   |                                |              |
|---|--------------------------------|--------------|
| 1 | Based on Educational Principle | 教育アプローチ      |
| 2 | Co—Production                  | コプロダクション(共創) |
| 3 | Strengths-based                | ストレングが基本     |
| 4 | Person-centered                | ひと中心         |
| 5 | Progressive                    | 通過していくもの(卒業) |
| 6 | Community facing               | 地域に向いている     |
| 7 | Inclusive                      | すべての人が対象     |

# 1 教育アプローチとは

---

- ・治療をする場でも支援を行う場でもない
  - ・リカバリーについて学びあう場である
- 
- ・リカバリーに役立つ講座を自分で選んで受講する
  - ・治療計画や支援計画はなく、自分で学習計画を立てる

## 2 コプロダクション(共創)とは

---

- ・多くの声が反映できること、力を分配すること
- ・全ての場面においてコプロダクションで行う
  - カレッジの運営
  - 講座の企画
  - 講座の実施等
- ・特に生きた経験をした人と専門職とがともに垣根を越えて行う  
学生ともコプロダクションで行う

## 3,4 ストレングスでひと中心

---

- ・誰もが患者、利用者ではなく、学生(受講生)である
- ・リカバリーを学びたくてやってくる人として敬意を払う
- ・申込み時に病名、病歴、生活歴などを尋ねることはない

## 5 プログレッシブ(前進)

---

- ・長期的に通う居場所ではない
- ・必要な時に利用して次のステップに進んでいく
- ・目標達成して卒業をする  
「卒業があるから、これからのことを考えることができた」

## 7 地域に向いている

---

- ・地域の機関と協力して講座を行う
- ・図書館、コミュニティセンターといった場所で講座が行われる
- ・地域の多様なサービス等の情報がある

※特定のみ利用する閉鎖的な場所は、差別や偏見が生まれやすい

# インクルーシブ(すべての人が対象)

---

- ・受講したい方は誰もが受講できる
  - ・誰をも排除しない
- 
- ・配慮が必要なことは申込時に確認する
  - ・配慮が必要な方には可能な限り固有のサポートを整える